

インドネシアのABS制度構築の 現状紹介と日本学術セクターの対応

日時：2018年1月24日（水）13:00-15:30

場所：京都大学 吉田キャンパス 本部構内 学術研究支援棟
地下1階会議室（キャンパスマップ 本部構内61番の建物）

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y

（〒606-8501 京都市左京区吉田本町）

※ABS: 遺伝資源の取得の機会とその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分

【プログラム】（敬称略）

12:45：受付開始

13:00-15:30:

1. Ruliyana Susanti（インドネシア科学院生物学研究センター）
"ABS implementation for international collaborative researches
in Indonesia"

インドネシアのABS制度の構築において学術面のアドバイザーとしてMTAのフォーム作成などを担当する同氏から、インドネシアでの具体的な手続きについて説明をうけるとともに、さまざまなケースについて助言していただきます

2. 鈴木睦昭（国立遺伝学研究所 知的財産室 ABS 学術対策チーム）
"日本の学術研究におけるABS対応の現状"
日本におけるABS対応の最新情報を提供していただきます

3. 質疑応答 & フリーディスカッション

■なお、京都大学関係者向けに、翌日1月25日（木）にRuliyana氏参加の個別の相談会も計画しております。個別相談会をご希望の方は、その旨事前登録の際にご連絡ください。9時から15時の間を予定しています。主催者側から場所と時間について折り返し返信いたします。

■参加の事前登録が必要です。申込みはE-mail(event-respo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)宛てに、**件名：1/24ABSセミナー参加申込み**と記載し、**お名前、ご所属、部署/役職、連絡先（E-mail, TEL）**をご連絡ください。

（申込締切 1月16日〔火〕）（参加無料、定員になり次第締切とさせていただきます）

（本セミナー案内はHP：http://respo.rp.kyoto-u.ac.jp/info/event_public/info_1712 に掲載）

主催：京都大学日アセアン科学技術イノベーションプラットフォーム

共催：国立遺伝学研究所 知的財産室 ABS 学術対策チーム

京都大学研究倫理・安全推進室(RESPO) HP: <http://respo.rp.kyoto-u.ac.jp/>

（問合せ）E-mail: respo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-753-5601、FAX: 075-753-5604